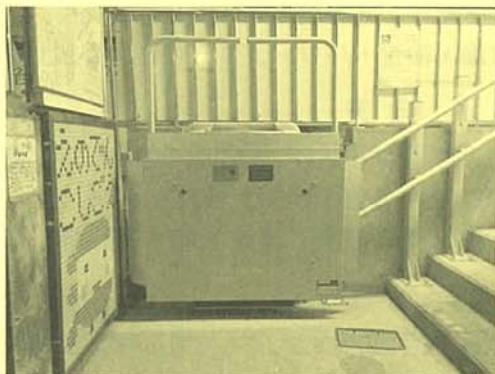


1. 江ノ電のバリアフリー化について

2016年度中に、やっと鎌倉市にある、JRの大船駅・北鎌倉駅・鎌倉駅、鎌倉市内の江ノ電の全駅がバリアフリー化され、とても便利になります。

皆様のご理解、ご協力のおかげで実現することが出来ました。

私、千が議員になったばかりの頃は、江ノ電の鎌倉駅と長谷駅にしかスロープが無かったのですが、その時と比べて、移動のサポートがされている街になってきました。



江ノ電腰越駅のリフト

2. 地域活動支援センターの工賃をもっと多く

鎌倉市の地域活動支援センター（以下、地活）には、それぞれ仲間たちとのコミュニケーションを楽しみに来る方もいれば、そこで働いた工賃が少しでも多くもらえることを楽しみに働きに来る方もいます。それはその地活によっても違い、そこで活動する方によっても異なります。

しかしながら、工賃を目的として来る方にとっては、とても少ない金額になります。生産性が少ないとはいえ、働いてその対価を得たいという気持ちは誰にでもあります。

鎌倉市としてももっと多く、地活に優先調達制度をできるだけ多くして頂きたいものです。そして市民の皆様にも障がい者作業所でできることがあれば、そちらのほうをどんどん活用して頂くようお願いいたします。

3. どのような障がいを持つ子ども学童に通えるように

障がいを持つ子が安心して通えるように、職員・臨時的任用職員を配置する方向であるとの市の回答を、現部長・課長より頂いております。

特別支援学校の先生などにも入ってもらい決められるそうです。実現に向けて、さらに検討を続けていきます。

これは、同僚議員の一般質問にて、「ダウン症のお子さんが学童に行けず、結果的に引っ越しまでしてしまった。」と聞いたことがきっかけでした。

しかし、何年か前のこども部長の私に対する答弁では、「寝たきりのお子さんでも保護者の方などとよく話し合い、公費で人を増やすなどして受け入れられるようにする。」という旨のお答えを頂きました。